



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場会社名 東京インキ株式会社
コード番号 4635 URL <http://www.tokyoink.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 淳男
問合せ先責任者 (役職名) 管理部門理財部長 (氏名) 佐藤 健二

TEL 03-5902-7652

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	36,058	3.4	515	89.6	654	71.1	478	46.0
24年3月期第3四半期	34,865	△0.5	271	△25.7	382	△18.6	327	△84.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 443百万円 (693.3%) 24年3月期第3四半期 55百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	17.68	—
24年3月期第3四半期	12.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	46,460	19,280	40.9	701.99		
24年3月期	47,992	19,002	39.1	693.07		

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 19,001百万円 24年3月期 18,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,300	2.3	560	72.3	670	40.8	540	74.1	19.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	27,257,587 株	24年3月期	27,257,587 株
25年3月期3Q	189,559 株	24年3月期	180,378 株
25年3月期3Q	27,073,457 株	24年3月期3Q	27,082,273 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興関連需要による緩やかな景気回復の兆しが続く見られるものの、欧州の債務問題の長期化や新興国に対する輸出の減少等、依然として先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、新規製品の拡販および事業構造の改革に引き続き努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が360億5千8百万円で前年同四半期比11億9千2百万円の増収（3.4%増）となり、営業利益は5億1千5百万円で前年同四半期比2億4千3百万円の増益（89.6%増）、経常利益は6億5千4百万円で前年同四半期比2億7千2百万円の増益（71.1%増）、四半期純利益は4億7千8百万円で前年同四半期比1億5千万円の増益（46.0%増）となりました。

次に、セグメント別に概況をご報告いたします。

(インキ事業部門)

オフセットインキは、市場の縮小化が進行する厳しい環境の中で売上維持に努め、数量および売上高は前年同四半期並みとなりました。

グラビアインキは、数量および売上高は前年同四半期並みとなりました。

印刷用材料は、オフセットインキと同様に市場の縮小化が進行する中、拡販に努めましたが、売上高は前年同四半期並みとなりました。

印刷機械は、新分野向けの機器が寄与し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

この結果、インキ事業部門の売上高は131億1千1百万円で前年同四半期比4億9千3百万円の増収（3.9%増）となり、セグメント利益は業態変革の推進、コストの削減等に努めた結果、5億2百万円で前年同四半期比4億7千4百万円の増益となりました。

(化成事業部門)

合成樹脂用着色剤は、自動車用途向けで陰が見られるものの、包装用途等を含め順調に推移し、数量および売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

合成樹脂成形材料は、自動車用途向けの受託およびその他用途の減少により、数量および売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

この結果、化成事業部門の売上高は164億2百万円で前年同四半期比1億5千8百万円の増収（1.0%増）となり、セグメント利益は売上構成の変化もあり、8億3千9百万円で前年同四半期比2億8千万円の減益（25.0%減）となりました。

(加工品事業部門)

工業材料は、防災・減災向け土木資材の販売が順調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

包装材料は、拡販につとめましたが、売上高は前年同四半期並みとなりました。

仕入商品は、売上高は前年同四半期並みとなりました。

この結果、加工品事業部門の売上高は62億8千1百万円で前年同四半期比5億7百万円の増収（8.8%増）、セグメント利益は1億1千3百万円で前年同四半期比2千3百万円の増益（26.4%増）となりました。

(不動産賃貸事業部門)

不動産賃貸事業部門は、不動産の賃貸収入が増加したことにより、売上高は2億6千3百万円で前年同四半期比3千3百万円の増収（14.4%増）、セグメント利益は1億4千8百万円で前年同四半期比2千7百万円の増益（23.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は464億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ15億3千2百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少12億2千6百万円、受取手形及び売掛金の増加7億6百万円、たな卸資産の減少1億9千3百万円、繰延税金資産の増加2億2百万円、有形固定資産の減少8億6百万円及び投資有価証券の時価下落等に伴う減少1億7百万円等によるものです。

(負債)

負債合計は271億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億1千万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少4億4千5百万円、短期借入金の増加1億7千8百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少1億9千4百万円、賞与引当金の減少3億4千2百万円及び長期借入金の減少8億1千1百万円等によるものです。

(純資産)

純資産の部は192億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千7百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加3億1千6百万円及び投資有価証券の時価下落等に伴うその他有価証券評価差額金の減少7千8百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想に関しましては、今後の経済情勢等が不透明であることから、現時点においては前回発表数値(平成24年10月26日発表)に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,425	1,199
受取手形及び売掛金	18,216	18,922
商品及び製品	3,921	3,915
仕掛品	1,667	1,622
原材料及び貯蔵品	1,667	1,524
繰延税金資産	263	471
その他	478	508
貸倒引当金	△61	△185
流動資産合計	28,578	27,978
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,786	7,263
機械装置及び運搬具（純額）	2,618	2,356
工具、器具及び備品（純額）	86	81
土地	3,710	3,497
リース資産（純額）	672	614
建設仮勘定	149	403
有形固定資産合計	15,023	14,217
無形固定資産		
リース資産	19	14
その他	62	66
無形固定資産合計	82	80
投資その他の資産		
投資有価証券	3,948	3,841
繰延税金資産	118	111
その他	480	460
貸倒引当金	△239	△230
投資その他の資産合計	4,307	4,183
固定資産合計	19,413	18,481
資産合計	47,992	46,460

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,792	13,347
短期借入金	4,511	4,690
1年内返済予定の長期借入金	1,605	1,410
リース債務	186	193
未払法人税等	146	11
賞与引当金	456	114
未払消費税等	160	157
未払費用	859	955
その他	697	661
流動負債合計	22,417	21,542
固定負債		
長期借入金	2,936	2,124
リース債務	543	460
繰延税金負債	265	309
退職給付引当金	2,387	2,320
役員退職慰労引当金	242	236
その他	196	186
固定負債合計	6,572	5,637
負債合計	28,989	27,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,246	3,246
資本剰余金	2,511	2,511
利益剰余金	13,176	13,492
自己株式	△47	△49
株主資本合計	18,886	19,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65	△13
為替換算調整勘定	△185	△186
その他の包括利益累計額合計	△120	△199
少数株主持分	236	278
純資産合計	19,002	19,280
負債純資産合計	47,992	46,460

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	34,865	36,058
売上原価	30,160	31,124
売上総利益	4,705	4,934
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,188	1,168
賞与	376	384
福利厚生費	258	270
減価償却費	239	204
貸倒引当金繰入額	29	137
貸倒損失	53	—
賞与引当金繰入額	47	47
退職給付引当金繰入額	163	170
役員退職慰労引当金繰入額	12	13
通信交通費	234	239
荷造及び発送費	840	804
その他	989	978
販売費及び一般管理費合計	4,433	4,418
営業利益	271	515
営業外収益		
受取利息	8	25
受取配当金	118	121
出資分配金	40	44
その他	30	49
営業外収益合計	198	240
営業外費用		
支払利息	64	61
その他	23	38
営業外費用合計	87	100
経常利益	382	654
特別利益		
固定資産売却益	0	10
保険差益	24	255
その他	—	2
特別利益合計	25	268
特別損失		
固定資産除売却損	44	2
投資有価証券評価損	12	0
災害による損失	23	—
減損損失	—	333
子会社売却に伴う損失	—	82
瑕疵担保責任履行損失	—	34
製品補償損失	—	31
その他	16	3
特別損失合計	97	487

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
税金等調整前四半期純利益	310	436
法人税、住民税及び事業税	59	36
法人税等調整額	△75	△123
法人税等合計	△16	△86
少数株主損益調整前四半期純利益	327	522
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△0	44
四半期純利益	327	478

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	327	522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△248	△78
為替換算調整勘定	△22	△0
その他の包括利益合計	△271	△79
四半期包括利益	55	443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56	399
少数株主に係る四半期包括利益	△0	44

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ 事業部門	化成品 事業部門	加工品 事業部門	不動産賃貸 事業部門	計	
売上高						
外部顧客への売上高	12,617	16,243	5,773	230	34,865	34,865
セグメント間の内部売上高又は振替 高	32	29	7	—	68	68
計	12,650	16,272	5,781	230	34,934	34,934
セグメント利益	28	1,120	89	120	1,358	1,358

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差額調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,358
全社費用(注)	△1,084
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	271

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ 事業部門	化成品 事業部門	加工品 事業部門	不動産賃貸 事業部門	計	
売上高						
外部顧客への売上高	13,111	16,402	6,281	263	36,058	36,058
セグメント間の内部売上高又は振替 高	3	28	3	—	35	35
計	13,114	16,430	6,284	263	36,094	36,094
セグメント利益	502	839	113	148	1,604	1,604

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差額調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,604
全社費用（注）	△1,088
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	515

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は「インキ事業部門」において2百万円、「化成品事業部門」において5百万円、「加工品事業部門」において2百万円それぞれ増加しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。